

第49回理事会、第17回評議員会および 第50回臨時理事会を開催しました

当財団の第49回理事会を2025年6月5日(木)、また第17回評議員会、第50回臨時理事会を2025年6月24日(火)に帝国ホテルを会場にハイブリッド会議として開催しました。

第49回理事会の議案は「2024年度事業および決算報告の件」「理事長の年額報酬の件」「評議員会に推薦する理事候補選任の件」「評議員会に推薦する監事候補選任の件」「出版助成の件」の5件で、いずれも原案どおり承認されました。

第17回評議員会では、「2024年度事業および決算報告の件」

「任期満了に伴う理事選任の件」「監事選任の件」の3件が審議され、いずれも原案どおり承認されました。

新任の理事に牧口征弘氏、監事に岩下幹氏が選任されました。

また第50回臨時理事会では「理事長選定の件」「専務理事選定の件」の2件が承認され、理事長に遠谷信幸氏、専務理事に牧口征弘氏が選任されました。

貸借対照表

2025年3月31日現在

科目	金額(単位:千円)
I 資産の部	
1. 流動資産	269,296
2. 固定資産	
(1) 基本財産	19,015,199
(2) 特定資産	12,118,199
(3) その他固定資産	503,668
資産合計	31,906,363
II 負債の部	
1. 流動負債	74,068
2. 固定負債	91,920
負債合計	165,988
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	29,537,387
2. 一般正味財産	2,202,987
正味財産合計	31,740,374
負債及び正味財産合計	31,906,363

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

科目	金額(単位:千円)
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	645,168
特定資産運用益	66,837
受取寄付金	31,555
雑収益	10,071
経常収益計	753,633
(2) 経常費用	
事業費	619,168
管理費	134,464
経常費用計	753,633
評価損益等調整前当期経常増減額	0
評価損益等計	△ 29,965
当期経常増減額	△ 29,965
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	1,386
当期経常外増減額	△ 1,386
当期一般正味財産増減額	△ 31,352
一般正味財産期首残高	2,234,339
一般正味財産期末残高	2,202,987
II 指定正味財産増減の部	
基本財産運用益	718,135
特定資産運用益	237,120
基本財産評価損益等	△ 4,538,305
特定資産評価損益等	30,296
一般正味財産への振替額	△ 708,819
当期指定正味財産増減額	△ 4,261,572
指定正味財産期首残高	33,798,960
指定正味財産期末残高	29,537,387
III 正味財産期末残高	31,740,374

2026年度研究助成 募集のお知らせ

吉田秀雄記念事業財団では、2026年度研究助成の募集を開始します。広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等の研究を対象に審査の上、助成金を給付します。あわせて助成対象者が一定の枠内で利用できる消費者調査を提供します。提出された研究成果の中から優れた研究に「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。応募の締め切りは、2026年1月13日(火)です。

1. 研究助成の目的

“広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等”に関する研究助成を通じて、その理論・技術および知識・情報の普及・発展を図り、それをもって学術・文化・経済の持続的発展および一般消費者の利益の増進に資することを目的としています。

2. 助成対象者・助成金額・件数

上記分野の研究に携わる研究者で、助成を受ける期間中、大学に所属する者。

(1) 常勤研究者の部

[対象者]	大学に在職する助教以上の常勤研究者(個人またはグループ研究)
[助成金額]	単年研究300万円以内／件、継続研究400万円以内／件
[件数]	10件程度

(2) 大学院生の部

[対象者]	博士後期課程に在籍する大学院生(個人またはグループ研究)
[助成金額]	単年研究50万円以内／件、継続研究60万円以内／件
[件数]	10件程度

3. 研究課題

(1) 自由課題(上記分野に関連する研究課題を自由に設定)

(2) 指定課題

- ①消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ②広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究
- ③心と身体に関するマーケティング研究

4. 研究期間

- (1) 単年研究…1ヵ年以内 (2) 継続研究…2ヵ年以内

5. 研究支援のための消費者調査

当財団では、助成対象者が利用できる消費者調査を実施します。

6. 選考方法

当財団の選考委員会による公正な審査の上、2026年3月下旬開催の当財団理事会で決定します。

7. 結果の発表

2026年4月上旬に応募者あて個別に採否を通知します。

8. 研究成果の報告

常勤研究者の部では3万字程度以上、大学院生の部では2万字程度以上の研究成果を期限までに提出。

9. 応募手続き

(1) 応募方法

当財団の研究助成システム(<http://app.yjk-yhmf.net>)に登録の上、マイページからお申し込みください。詳細は当財団ホームページで確認いただけます。

(2) 応募期間 2025年11月1日(土)～2026年1月13日(火)

(3) 応募先・問い合わせ先 公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

10. 助成研究吉田秀雄賞

優れた研究には選考委員会の審査により「助成研究吉田秀雄賞」が授与されます。

Editor's Note

投 資家が上場企業に短期的利益や高配当を求めるることは正しい。しかし、今号のとおり中長期的視点で文化や芸術に投資することへの理解や寛容さが、もっとあってもよいと思う。
(緑豆蒜)

大 阪万博で、いくつかの外国パビリオンを訪れた。経済発展の理想形は似ているが、文化のありようは、国によってさまざまだ。文化の継承は、国の存続に深く関わっていると強く感じた。
(葡萄)

委 託研究成果を本号と来号で紹介します。デジタル時代におけるブランド・コミュニケーションを概観する研究で、2つのチームに分かれて実施しましたが、互いに補完し合う内容となりました。
(ひろた)

社 会人になってから、これほど多くの新しいものごとに触れる機会は、そう多くなかつたかもしれません。アド・スタディーズを通じて得た経験は非常に貴重なものとなりました。
(みずさわ)